

放射線治療科

1. 診療科の概要

当科は、放射線腫瘍学（放射線治療学）および、インターベンショナルラジオロジー（IVR）の2部門からなっている。Quality of Life（生活の質）の向上を目指した放射線治療、苦痛の少ないIVR治療を通じて、社会への放射線医学の啓蒙及び放射線医学の研究を行っている。

2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：坂田 耕一

指導医：坂田 耕一、染谷 正則、斉藤 正人、北川 未央、長谷川 智一、土屋 高旭、後町 俊夫

3. 研修担当者

氏名 治療部門：染谷 正則

連絡先：someya@sapmed.ac.jp

IVR部門：斉藤 正人

連絡先：saitomasa@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻：9時00分

集合場所：臨床教育研究棟 11階 放射線医学講座教室

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
<体重減少・るい瘦、発熱、頭痛、めまい、けいれん発作、視力障害、呼吸困難、嘔気・嘔吐、腹痛、便秘異常（下痢・便秘）、腰・背部痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、終末期の症候>
- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。
<肺癌、肺炎、肝炎・肝硬変、大腸癌、糖尿病>
- ・ 放射線治療・IVRともに、疾患ステージや病態に応じた適切な治療計画を立てて実行することができる。

6. 研修内容

研修者の希望を考慮し、2部門の研修時間配分を決定

(1) カンファレンス：各グループカンファレンスを通じて、症例のプレゼンテーション・診断技能・治療アプローチについて研修する。

(2) 研究会

- ・ 週1回 医学雑誌抄読会／学会予行
- ・ 月1回 卒後研修会（研究者／専門医として必要な技能の修得）

7. 研修医の主な業務

- ・ 外来患者の予診を取り、治療計画立案より診療に参加する。
- ・ 病棟での入院患者の管理を行い、各種症状・兆候に応じた初期対応を学ぶ。
- ・ IVR、超音波検査・検査補助を行い、基本的な血管造影法、超音波走査の基本を習得する。

8. 研修スケジュール

<治療部門>

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月			回診・治療・外来診療				連絡会					
火			回診・治療・外来診療				病棟カンファレンス 婦人科カンファレンス(隔週)					
水			教授回診・回診・ 治療・外来診療・ 小線源治療・組織内照射				連絡会・腔内照射 呼吸器内科カンファレンス 外来・治療計画カンファ					
木			回診・治療・外来診療				耳鼻科カンファレンス(隔週) 肝胆膵カンファ					
金			回診・治療・外来診療				放射線治療勉強会					

<IVR 部門>

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月		症 例 検 討	外来診療 病棟業務				超音波検査 病棟業務					
火			IVR				IVR					
水			IVR 外来診療 病棟業務				超音波検査 IVR					
木			超音波検査 病棟業務		抄読会 (隔週)		IVR					
金			外来診療 病棟業務				超音波検査 病棟業務					

9. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
市立札幌病院、KKR 札幌医療センター、札幌禎心会病院、市立室蘭総合病院、函館五稜郭病院